

令和4年度学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	54	学校名	静岡県立榛原高等学校	記載者	梶山 佳明
------	----	-----	------------	-----	-------

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	規範を守り、自他を尊重する態度をもち、主体的に行動する生徒を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒 95% ○期限を守っている生徒 90% ○校内外においてあいさつができています生徒 95% ○教員は個性を尊重した指導をしていると思う生徒 90% ○課外活動に積極的に参加している生徒 80% 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、本当にしっかりと挨拶ができていていつも感心している。特に徒歩通学の生徒が立ち止まって挨拶をかわせるのは、榛原高校の自慢である。 ・榛高生の「礼」がしっかり実践されている。SNS関連のトラブルは、増加傾向が続くと予想されます。生徒や保護者を対象としたセミナー等の開催を実施してはどうか。 ・生徒アンケート「教員は個性を尊重した指導をしていると思う」割合が84.2%と目標を下回っており、きめ細かい指導が必要である。
イ	確かな学力と高い探究心を持ったグローバルリーダーを育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○教員は授業内容を理解できるよう指導していると思う生徒 90% ○自分が行うべき家庭学習ができています生徒 80% ○生徒個人端末を活用した教育活動を実践する教員 80% ○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒 80% ○新着図書情報等を毎月発信 ○英語4技能を高められた（英検取得等）生徒 前年度比アップ ○地域と連携した地域創造探究、グローバル事業を実践している 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員研修が機械操作の技術研修のみになってしまうのは本末転倒である。生徒にとって「わかる」、「できる」授業を目指しての本来の授業づくり研修が形骸化されないようにしてほしい。 ・英検1級の合格者が貴校から輩出できたのは、本人の頑張りはもちろんですが、先生方の指導の賜物だと思います。 ・生徒個人端末の活用を、全ての先生が行っていただけるよう積極的に推進していただきたい。 ・地域と連携したグローバル事業の実践の場を増やしていただき、かつ広く発信していただきたい。 ・効果検証を行う場を設け、教材のレベルアップを図る仕組みがほしい。教材ごとに簡潔なアンケートを設け、実効性を常にチェックして、次に活かすよう取り組んでみてはどうか。「あなたはこの教材ができたならこの教材に進んでください」等の教材体系と指導体制があるとなお良いと思います。 ・端末活用元年の本年度は、対応する教員の負担増につながっているのを心配になった。端末利用が学力向上につながっているのか少し心配に思う。 ・地域創造探究、グローバル事業等の活動を通して、多くの生徒が自身の思考力・表現力・協働力を高められたと感じられたことは、とても素晴らしい。 ・市が実施している、「地域リーダー育成プロジェクト」及び「はじめての日本語教室」等に、参加しており、グローバルな人材育成に取り組んでいる。
ウ	一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○学びの基礎診断や模擬試験における結果 前年度比アップ ○進路指導に満足している生徒 85% ○国公立大学合格者 30%以上 ○探究活動等を活かして進学する生徒 10人以上 ○理数科からの難関国公立 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を活かした進学の実績は、榛原高校の大きな一つである。 ・進路勉強会の開催について、対面とZoomのハイブリッドで行うことは、今後の継続していただきたい。その時間帯に視聴できない保護者もいますので、「聞き逃し配信」を検討していただきたい。 ・探求活動等において、積極性とコミュニケーション能力を頼もしく感じ、進学に活かされていると推察される。貴校には、こういう生徒をさらに伸ばす弛まぬ努力と、増やす努力を引き続き期待する。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
		大学及び医歯薬学部進学者 20%以上 ○「進路勉強会」の満足度平均 90%以上			<ul style="list-style-type: none"> きめ細かな指導を行おうと努力すればするほど、先生方の負担が増えることになる。タイム・マネジメントの改善など引き続き検討をお願いしたい。 進学先や進路指導が重要だと思う。満足度等の目標達成に向けて引き続き取り組んでいただきたい。
エ	安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒 80% ○教職員・生徒が感染症予防を徹底している。 ○教育相談に満足している生徒 80%、保護者 80% ○いじめ、体罰、重大交通事故 0件 ○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒 90% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 体罰・パワハラ・セクハラに対しては、益々神経を尖らせて行かなければならない時代になり、「知らなかった」では済まされない時代にある。 気軽に心理アドバイザーに相談してもらえるよう、ことあるごとに、心理アドバイザーの存在と、相談の手順などを発信していただきたい。 いじめや体罰がないことは素晴らしい。アンケート結果を過信せず、コンプライアンス研修を継続していただきたい。
オ	教育政策の方向性を見据えた研修等により、教職員の資質向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT活用(生徒個人端末活用)の知識・技能が高まった教員 85% ○学習評価についての理解が深まった教員 85% ○他教員の授業見学を年2回以上行った教員 80% ○校外研修等に参加した教職員 80% ○会議の終了時刻が計画どおりであった 80% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の多忙は重々承知しているが、ICTの活用をより積極的に進めていただき、授業や家庭学習にフル活用していただければと思います。 他教員の授業見学を年2回以上行った教員 83.3%で目標は達成しているが、他の教員の良いところを吸収し、一定のレベルを学校全体で保つ体制として更に高い目標をもってほしい。 校外研修等に参加した教職員は昨年の44%から86.1%に大幅に増えた。指導が硬直的にならないために努力されている。特定の教職員が継続的に参加しないことが無いように管理してはどうか。 個人端末利用による、授業対応での教員の負担増が気になる。 ICT機器の活用に適している授業だけではないので、どう活用すれば生徒にとってよりよい支援につながるのかを、引き続き検証をしていただきたい。
カ	地域関係者、保護者等とともに教育改善に取り組むとともに、適時に情報を共有・発信する	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○保護者の学校満足度 90%以上 ○HP記事を月平均で15以上アップする ○定期的に関覧する保護者 50% ○学校が必要な情報を発信していると思う保護者 90% ○学校広報掲示物を月1回発行 ○一日体験入学、オープンスクール等の満足度 90% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 榛原高校への入学希望者が増えることを切に願う。入学してくる生徒に年々学力差が開いてきていることかと思うが、習熟度別学習も視野に入れて確実な学力定着と伸長を念頭に学校体制で応えていってほしい。 学校HPのリニューアルによって、より興味を引く内容になったと思います。トップページに大きく表示される、始業時間の変更による通学環境の改善は、公共交通政策の専門家である名古屋大学の加藤博和先生の目に留まり、フェイスブック等で広く紹介されていた。今後の更新も期待します。 満足度は概ね改善しており、取り組みの成果が顕れている。 学校HP・SNSなど外に発信することが増え、すごく充実してきていると思う。それに加え、新しい形のオープンスクールの実施により、定員確保に繋がればと期待している。 学校の情報発信について、HP及び広報掲示物により、継続的に実施されていることから保護者の満足度や生徒募集に繋がっている。